

# 東日本連携・創生フォーラム

平成27年8月24日(月)  
都市経営戦略会議  
(夏の集中審議)資料  
経済局 経済政策課

## 事業実施の経緯、趣旨

本市では、平成24年度から広域連携推進事業を実施し、広域での農商工連携や、産学連携などに取組んできた。

北陸、北海道新幹線延伸開業により、大宮駅を起点とし東日本各地域が物理的につながることから、今までの市域を越えた新たなつながりを「より幅広い分野」で「より広域に」実施できるよう、各地域の首長によるフォーラムを開催し、地方創生を推進する。

## 本市の役割、期待できる効果

- ・新たなイノベーションによるビジネスチャンスの創出
- ・ヒト、モノ、情報の循環、集積による地域活性化
- ・オリパラ等のイベントを見据え、市の位置づけ強化(通過駅からの脱却)

## 今後の方向性(本市での継続開催が必要)

本年10月さいたま市にて、第1回フォーラム開催

引続き

本市にて継続開催

- ・本市の、東日本の玄関口、交通の結節点  
といった、強み、優位性を確かなものとする。
- ・東京オリンピック等の国際イベント開催に向け、効果  
的な事業展開をする必要がある。

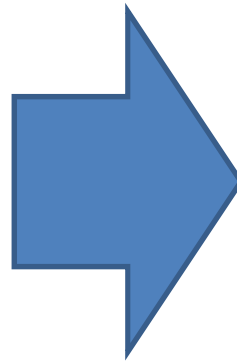
# 今後の方向性(連携分野の拡充の可能性)

## 第1回開催

経済・観光分野にテーマを絞り込み実施

第1回開催による  
合意事項(共同宣言案)

- ・企業(事業)活動促進のための広域的取組の実施
- ・各地域資源の相互利用による地域活性化の促進・交流人口の拡大
- ・新たな地域課題解決に向けた連携



次年度以降

第1回開催による  
合意事項(共同宣言案)  
に基づき、事業を実施

# 具体的な連携策（広域連携拠点の整備）

## 広域連携拠点整備

### 【事業趣旨】

本市の持つヒト、モノ、情報が集約する立地優位性、交通の結節点という強みをより確かなものとするとともに、各地域との広域連携事業に取り組む、情報発信度の高い活動拠点をさいたま市に整備し、東日本の地方創生を推進する。

#### ○設置場所

大宮駅周辺

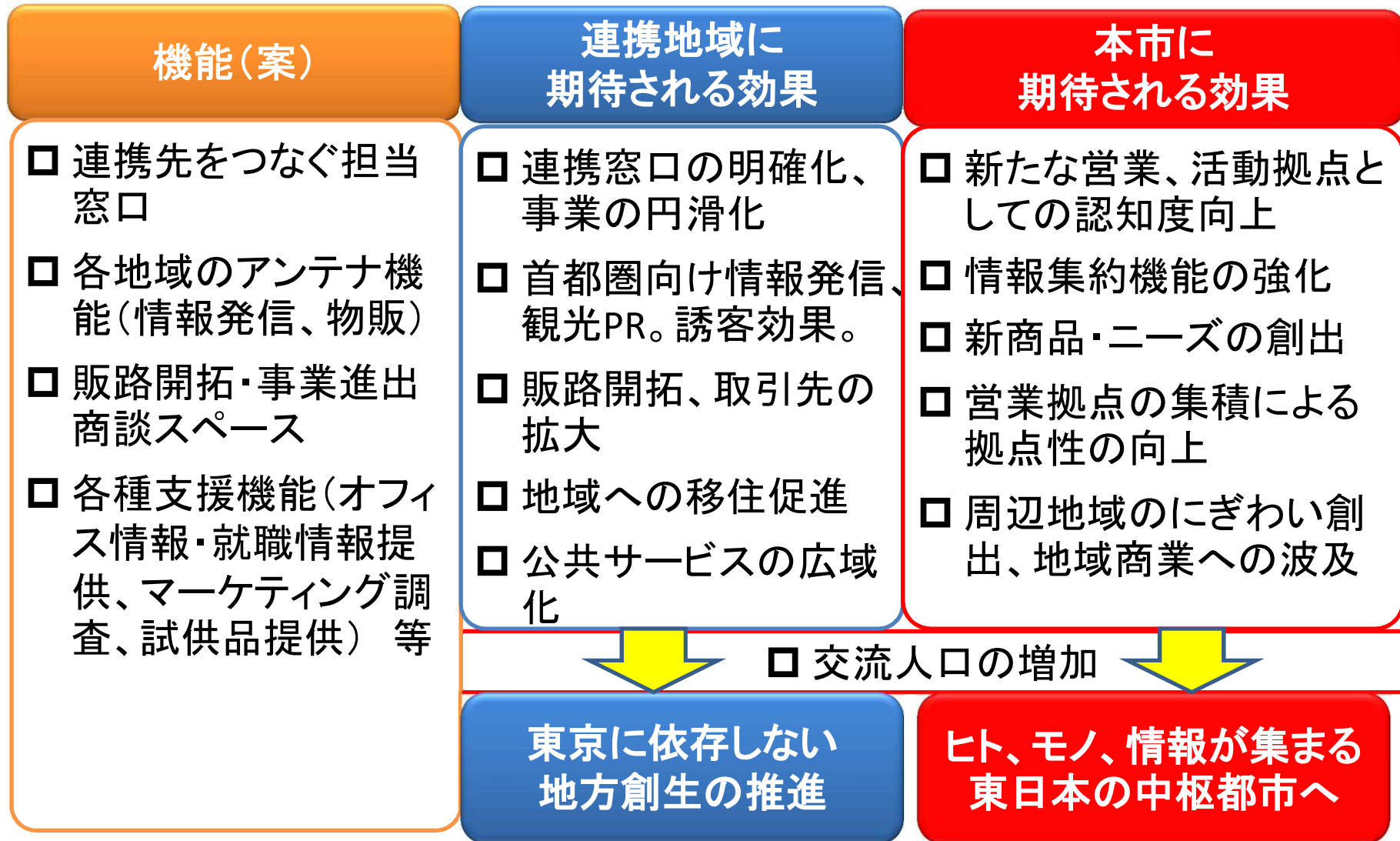
#### ○運営方法

既存施設を利用し（駅周辺施設のフロアを賃借）、民間事業者へ委託等により運営

#### ○実施時期

物件、運営者を決定できれば平成28年度から実施

# 具体的な連携策（機能と効果）



## 次年度以降の広域連携実施に向けた検討事項

論点	内容	課題等
次年度以降の開催の是非	さいたま市を会場にフォーラムを継続開催する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東京オリンピック等の国際イベント開催を見据え、本市での継続開催の必要性の判断</li> </ul>
連携分野の拡充の可能性(少子化、高齢社会等)	経済・観光分野での実施とし、多くのテーマには広げない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・将来的に他自治体から分野の拡充を求められる可能性がある</li> <li>・経済、観光分野に関連する他分野の事業実施の可能性(修学旅行等)</li> </ul>
連携拠点の整備	広域連携の窓口や情報発信のための広域連携拠点を大宮駅周辺に整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業実施の内容整理、運営方法・主体決定</li> </ul>